

しゃらくかい

写楽句会

平成29年11月30日発行 023
投稿/投票宛先；kinuko_thompson@hotmail.com
© 2017 Sharakukai

準坊さん出題の霜月号「紅葉」をお送りします。

埼玉県志木市の「ランチタイム句会」（現在休会）のメンバーの、iSAMUさんと昼寝覚さんから投稿、Mimiさんからは投票とコメントを頂きました。これからもよろしくお願いいたします。

写真俳句



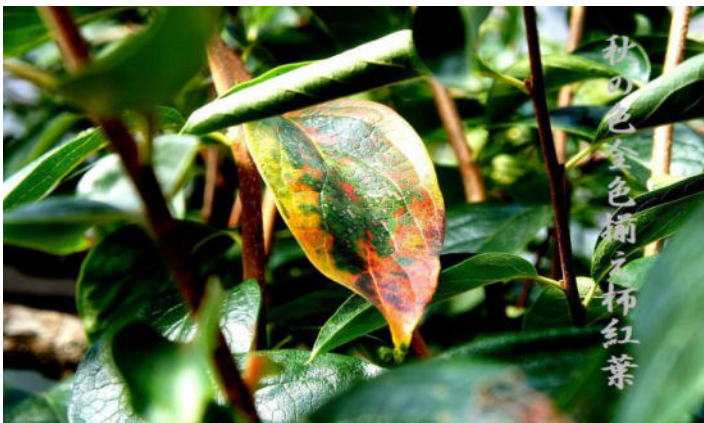
1 竿さばき見惚れながらの紅葉狩

長滞ラインくだりでの一コマです。
秩父音頭が聞こえそうです。



2 紅葉の天蓋しばし風座る

柏餅に使いそうな大ぶりの葉です。



3 秋の色全色揃え柿紅葉



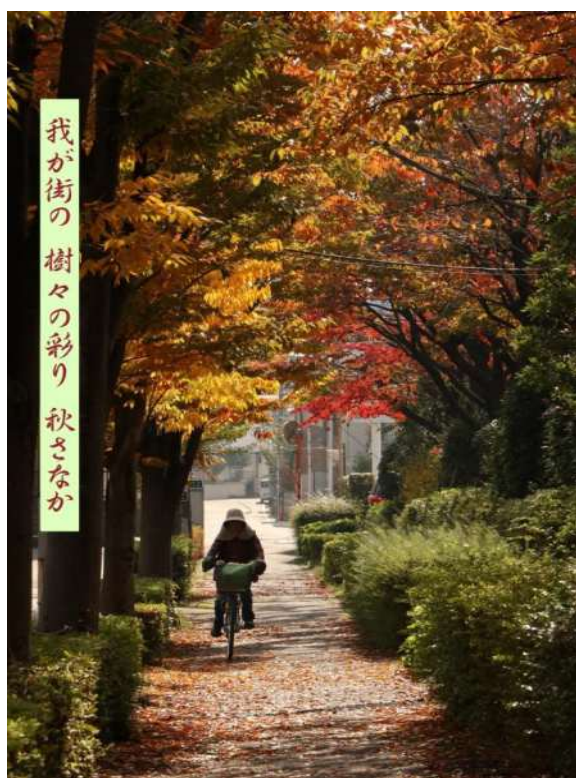
4 角曲がり楓の赤に驚きぬ

良い写真が撮れず、昨年の作品ですが、
驚きは昨日のことに思い出します。



5 隧道抜け歓声上がる紅葉狩り

バスツアー。七曲りのトンネルを抜けると
目にも鮮やかな色彩が。



6 我が街の樹々の彩り秋さなか

あちこちで紅葉が見頃とニュースで盛んに
言っていますが、近くでも結構綺麗な紅葉が
ありました。



7 秋の風黄色の葉たちかわいがり



8 風吹けど散るも叶わぬ似非紅葉

商店街が季節毎に変えて飾ってます。



よべ
9 昨夜の雨名残り潜めてもみじ照る

雨後の紅葉が光っていました。

1 舞い降りしもみじ葉にページ閉じ
秋日和に公園のベンチで読書など如何でしょう。

2 紅葉の景で誘う旅しおり

3 庭隅の小さきもみじの自己主張
我家の風景ですが、今年もやっと自己主張を始めました。

4 青空に聳える大樹黄葉 (もみじ) 燃ゆ
神社の黄金色の大銀杏に圧倒される。

5 ドライブの止めてみつらん山紅葉
山の紅葉は最高です。車を止めて見入ってしまいます。

6 雑木原 赤や黄色に 色かわる

7 米買って戻る肩先もみじの葉
ふと冬ごもりに入るような気分に。



久芽撮影

短歌

秋小寒薄着の我にカーディガン羽織らせる妻に何故か照れる 準坊
口には出さねど連合いに感謝感謝の日々です～。

川柳

準坊 徘徊と余り変わらぬブラ散歩
最近涼しくなってきたので散歩が復活しました。

北切雀 まだかいなオツムネットの立ち上がり
頭がオンラインになるのに時間がかかる。良く切れるし。

ひとつづつマルチタスクは事故のもと
自分用の標語です。

サンタさんお掃除ロボットお願いね
埃では死なんと腹をくくっていても新年がくるとなると。

「*」付きは読者からのコメントです。

写真俳句の部 総投票数：34

二席

んめえから食ってみでけろらふらんす

池福楼（12票）



ラフランスの産地、山形・上山市の農家の方が方言豊かに話してくれたのが思い出に残る（作者）。

- * いいな、好きだな☆ 写真もあわせて楽しませて頂きました。
- * 何と美味しそうな写真！ こう言ってもらえたら早速食べたいところだけれど。
- * ラフランス、好きです！写真は「実り」感ばっちり、その美味しさを「うめえ」ではなく山形弁の「んめえ」で表現したのはお上手。らふらんすがひらがなのもよし。
- * 産地直送写真に独創句、素晴らしい。
- * 全部ひらがなの方がよかったかも。
- * 方言の句 ……面白い。

- * 山形弁ですか・・・衝撃的な句です。
- * 方言を俳句に用いるとは新鮮ですね。
- * 旅先での出会いがいきいきと表現されていると思いました。
- * これはとってもユニークな句ですね。方言とラフランスという洋なしとの組み合わせが絶妙で、つい笑顔になってしまいました。声が聞こえてくるようです。
- * 方言が新鮮。実の付いた棚も珍しい写真でした。ただラフランスは追熟が必要な果実ゆえ、挽いでかぶりつけないのが残念ですね。

佳作

一陣の風に煌めく稲穂波

準坊（7票）



黄金の稲畑を見ると正に実りの秋ですね。

- * きれいな句ですね。
- * 実をずっしりとつけた稲穂には豊穡な大地の恵みと日本人の原風景を見る。
- * これこそ日本の実りの集大成。見事！句の置き方を稲穂の垂れに合わせたのもいいね。
- * 同じ様な写真は撮れたのですが、字の入れ方や句の出来栄えに、投稿しなくてよかったと思ってます。
- * 黄金な稲の写真写りはいいね。

- * 懐かしい日本の原風景です。稲穂を波に例えたところがいいですね。
- * 実った稲穂を波と見る視点が写真とよくマッチしています。写真の中の句も波のようでいいですね。



道端の実り輝く闇の粒

北切雀（5票）

ブラックベリーです。5字2行に置き、5・7・5ではなく、8・9で詠みました（作者）。

- * アクセサリーの様で綺麗ですね。5・7・5の区切りでも良いですね。
- * 自然の贈り物に感動する写真で素敵。飾らず素朴なのに目をひいてまさに「輝く闇の粒」、この言葉がスパイスになっていると思います。

「道端の実り輝く闇の粒」コメント続き：

- * 写真も、8・9の作りも良い。でも「闇」はちょっとブラックベリーがかわいそうかな～。
- * 5字2行というのがあるのですね、私がいかに勉強不足かが分ります。難しいけど参考になります。
- * 「闇の粒」がイリュージョンを感じる。この黒粒は悪魔の落とし物か、禁断の実か。

峰近し（順不同）



山畑や今や盛りの蕎麦の花 千泉

段々畑はいつも何かしら収穫されています。

- * 蕎麦畑は荒れた細やかな畑で栽培されることが多い。段々畑を黙々と耕す人々を思い浮かべる。
- * 耕作地を有効に使う農家の努力が偲ばれます。側の花盛りをナマで見たいものです。こころ落ち着く句と写真です。



これはなに子供手がでる秋の実り 梵木

- * 昔のぶどうは種ばかり大きく、実は小さい。この見事な球形は子供の興味の対象になる。
- * 写真と俳句の関係が一番良いと思いました。ピントが合っていない写真が子供の目に映る表現になっていて、俳句もシンプルで素直で、写っているのが「実」であるのが良い。
- * これは巨峰でしょうか ピオーネでしょうか・・・今年は種無しが沢山出回りましたよね。



店先に秋の実りが鎮座せり 沈丁花

- * ディスプレイの南瓜、色がいいですね。正に秋が鎮座しています。
- * 句も写真も迫力があっていいと思いました。
- * 賞禄十分。「鎮座する」という言葉の選び方が素晴らしい。
- * 写真に迫力がありますね。
- * これはま～見事なカボチャ。ハロウィン用？ まさに座布団に鎮座している。



大振りの里芋抜けば身は小振り 久芽

里芋の葉っぱはご存知の通りとても大きいのですが、掘ってみればまだまだ 小さくて.....。

- * あのとよく見る大きな葉っぱが里芋の葉だったとは、知りませんでした（恥）。
- * 里芋の地上と地下の規模感のズレは面白いネタだけど、写真が葉だけで、里芋を抜いた瞬間でないのが残念（難しいと想像するけど）。
- * ユニークで愉快的な句。家庭菜園の楽しさが伝わる。実りの秋も裏切られることもある。

- * 立派に繁ったごぼうを抜いてみれば鉛筆サイズだった事を思い出しました。
- * 里芋の葉っぱは立派ですが、期待するほど身は大きくないのはよく経験するところです。



山畑や今や盛りの蕎麦の花 千泉
推薦者1名

* 里山の風景が素晴らしいです（昼寝覚）。



俳句の部カット写真 読者NGさん
推薦者1名

撮影者NGさんの言葉（南東スペイン在住）：

この野菜たちは友人の家庭菜園の実りです。
左上に丸茄子と大型苦瓜。小籠の超小粒球も
茄子です。右手の真ん中はジャンボオクラです。

* JAさん

* ところ変われば品も変わるものだなあと感心しました。
（.千泉）



道端の実り輝く闇の粒 北切雀
推薦者1名

* 食べたいな～（SNさん）。

俳句の部 総投票数：31

二席

はさ
夕暮れの稲架の黄金はモネの色 久芽（10票）

モネの「積み藁」を思い出しました（作者）。

- * 夕暮れの情景が浮かんできました。
- * 美味しそうな2の「馬鈴薯に」と迷いましたが、この「モネ」に投票。積み藁が描かれた場所を訪ねた時のことを懐かしく思い出したので。思い出が食欲に勝った珍しい例。
- * 実は私も稲架の写真を撮ったのですが、うまく俳句になりませんでした。きれいな句ですね。
- * 降り注ぐ夕陽、明暗のコントラスト。鮮やかな色彩のあの名画がすぐに浮かんでくる句。
- * モネの描いた積み藁の絵画は、どれも温かみのある色合いですよ。
- * まさに実りの秋の風景はモネの世界ですね。恥ずかしながら、稲架（はさ）という言葉は初めて聞きました。勉強になります。
- * 一瞬にして絵画の世界に連れて行って貰いました。

刈入れし畑の広きに迷う風 北切雀（7票）

刈り取りの終わった畑の空間は広く見える（作者）。

- * 「刈入れ」は季語ではないので「稲刈りし」か「麦刈りし」では？
- * カッコいい俳句。風の動きが感じられて、秋の実りの後の冬を迎える感じが良し。風の動きが感じられて、秋の実りの後の冬を迎える感じが良し。季節が去っていく寂しさがあると感じる。
- * 「迷う風」が面白い。何も無い空間を一陣の風が素通りするのみか。
- * 刈入れた畑は少し寂しい感じがしますよね。風が迷うとはいい表現です。
- * 想像できますね。借り入れた畑に吹く風はどこに向かっていいのやら。
- * 揺れるものが無くなり風も戸惑ってしまうのですね。

じゃがいも

馬鈴薯にバターがとろり顔とろり 準坊（6票）

ホクホクのジャガバターは旨し。至福の時（作者）。

- * 共感。ジャガバターはシンプルで美味しく、「とろり」の繰り返しで感情を表現していて良し。ジャガバターはなぜか夏のお祭りの屋台のイメージが強いが、夏の季語の「新じゃが」に対し馬鈴薯は秋の季語だそうで。
- * 「とろり」という重語が活かしている。美味しい顔のなんと平和でのどかなことか。
- * 秋の実りの王道、顔だつてとろける気持ちがよくわかります。

峰近し（順不同）

畑道収穫おわりこぬか雨 梵木

- * 季語が欲しかった。（何の収穫？）
- * 一生懸命育てた稲も刈り取りが終われば何か空しい風景。こぬか雨が更に。
- * 収穫の終わったあとの静かな雨ですかね。

秋夕焼け豊かな実り予感させ 千泉

長雨の後の夕焼けは本当に心を落ち着かせてくれます（作者）。

- * 明日の豊穣に期待。しっとりとした俳句ですね。
- * 「秋夕焼け（あきゆやけ）」は透明感があり、またそこはかたなく淋しさも漂う素敵な秋の季語の代表。使いたいと思いつつ、使えてない。
- * 秋の美しい夕焼けは晩生の豊穣を実感する。

限りなくりんご水玉津軽富士 池福楼

青森・岩木山の麓のアップルロード。見渡す限りりんご畑が続く（作者）。

- * 秋の青空にりんご色が映えている様子、あたり一面りんご畑できっと水玉のようにも見えるにちがいない様子が目に浮ぶ句ですね。写真じゃない句だけに心に風景が広がります。
- * 40年以上前に行った時、地元の人一本の木に2千個の実が付いたと聞いたのですが、本当かどうか分かりません。
- * 東北で食べたみずみずしいりんごを思い出しました。

- * そうか、そうか、よくぞ実った、とそれぞれの実りに声をかけたい気持ち分かります。
- * 農家の一年間の努力が実を結ぶ嬉しい季節。

短歌

パソコンを教へし息子今はプロ不具合起きて帰宅待ち侘ぶ 準坊

「老いては子に従え」です。嬉しくも有り、悲しくも有り（作者）。

- * まさに「何処も同じ秋の夕暮れ」。
- * 父の心情と共に親子の仲の良さ、素晴らしい家族愛が伝わる歌ですね。

川柳

準坊 政治家は自己保身がいの一番

今回の衆議院解散で一言。

情けなや気概の無き離党議員

自身の生き残りだけを考える
みっともなき愚か者達に喝！

- * どの国も政治家というのは同じのようです。
- * 時事川柳は鮮度が命。政治の世界はすぐに状況が変わってしまいます。

池福楼

食欲の秋にまつわる川柳投稿です（作者）。

松茸のケタを間違えすぐ戻し

脂肪（サシ）見事A5ランクの我がお腹

元とるといって医者行く食べ放題

- * 3作とも自分のことは棚に上げて笑ってしまって、反省。

- * 師走12月の兼題は北切雀出題「本」です。「本」の文字を入れなくとも「書店」でも「読書」でもご自由に詠んでください。新年1月号の兼題は、沈丁花さん出題「正月」または「去年今年」です。
- * 霜月11月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票して下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。
- * 師走12月への投稿、霜月11月号作品への投票の締め切りはともに12月20日です。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」（五十音順）

池福楼、ISAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会023（連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com）

© 2017 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

